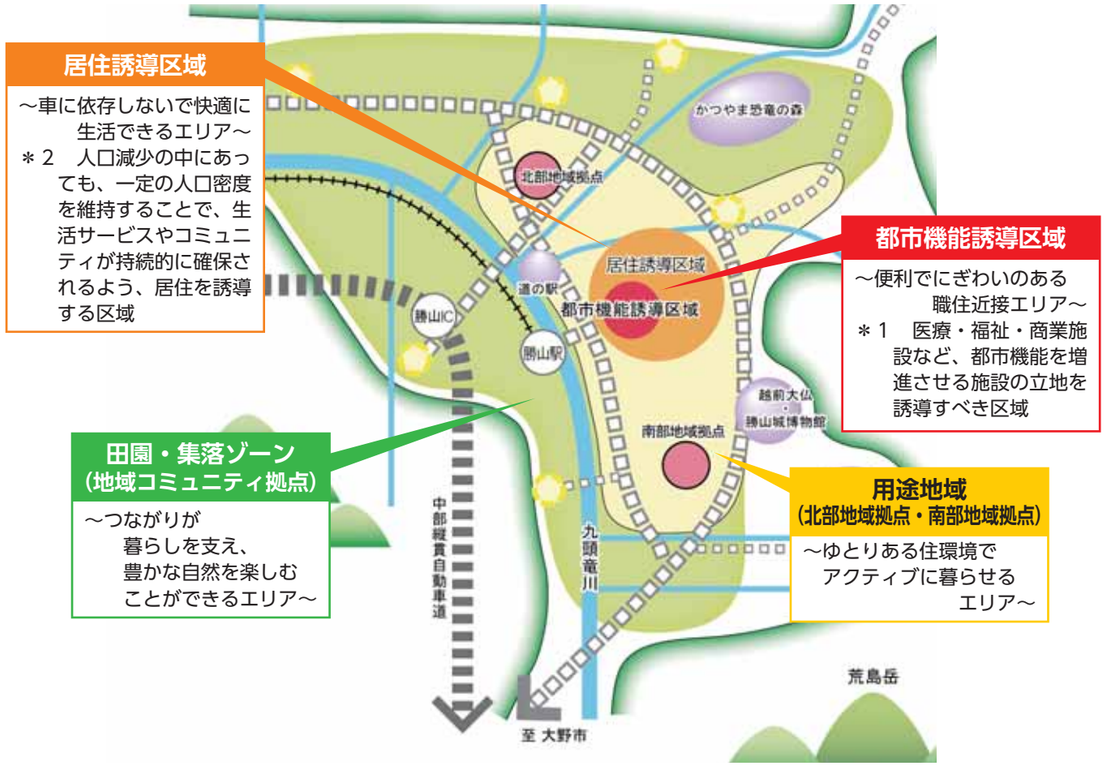
勝山市立地適正化計画の運用が始まりました

すべての人が快適で安全な暮らしを実感できる持続可能な「コンパクトなまち」へ

問都市建設課（市民会館２階）☎88－8107



立地適正化計画を策定

勝山市では、今後、人口減少や高齢化、市街地の空洞化が進むと推測され、生活利便性の低下や地域コミュニティの弱体化などが懸念されます。

そのため、宅地開発や都市機能の立地を適切な場所に誘導し、今まで以上にコンパクトなまちづくりを進めることで、まちなかの空洞化を解消し、市民の暮らしやすさを高めることを目的に、本計画を策定しました。

誘導区域の設定 ～緩やかな誘導～

この計画では、誘導する地域として「都市機能誘導区域＊1」と「居住誘導区域＊2」を設定しました。

誘導に当たっては、制限や規制はありません。

事業者がメリットを最大限受ける施策を充実させたり、公共交通の利便性を向上させる施策を展開することで、誘導区域全体の質を高め、暮らしやすさを確保し、緩やかな誘導を図ります。

届出制度が始まります

計画の運用開始に伴い、医療や福祉、商業施設などの誘導施設の立地動向や住宅開発などを事前に把握するため、届出制度が始まります。

届け出が必要な場合

①「都市機能誘導区域」外で次の開発・建築行為を行う場合
- 誘導施設の建築を目的とする開発行為＊3
- 新たに誘導施設を建築する行為
- 建築物を改築または建築物の用途を変更し、誘導施設を建築する行為

②「都市機能誘導区域」内の誘導施設を休廃止する場合

③「居住誘導区域」外で次の開発・建築行為を行う場合
- ３戸以上の住宅の建築を目的とする開発行為＊3
- １戸または２戸の住宅の建築を目的とする開発行為（規模が1000㎡以上）
- 新たに３戸以上の住宅を建築する行為
- 建築物を改築または用途を変更し、３戸以上の住宅とする建築行為

届出の期間　行為に着手する30日前

＊3　開発行為とは、道路や水路整備などを伴う建築物を整備する行為

かつやま恐竜の森（県立恐竜博物館）と国道１５７号がつながる

問都市建設課（市役所2階）☎88－8107

渋滞緩和と街中への誘客促進

市では、かつやま恐竜の森と国道157号を結ぶ道路「市道5－84号線」を整備しています。

ゴールデンウィークなどの連休時に発生していた郡町交差点における大野方面からの来園車両による混雑の緩和や、恐竜博物館から街中への誘客の促進が期待されます。

事業の実施にあたり用地をご提供いただいた地権者さま、寺尾区民さま、設計・施工業者さまをはじめ関係する皆さまに厚く御礼申し上げます。

供用開始日

４月末までに供用を開始する予定です。開通日が決まりましたら市ホームページにてお知らせします。

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク　ジオパーク専門員　町　澄秋

昨年に引き続き、２度目のジオパークフェスタを3月23日に開催しました。今年は、オープニングイベントとして、タップダンサーの浦上雄次さんに「春の足音」と題したパフォーマンスをしていただきました。化石や地層ばかりと思われがちなジオパークですが、勝山のジオサイトのスライドショーと音楽に合わせたタップをしてもらうという、これまでとは違ったジオパークの楽しみ方になりました。

また、福井大学の三好先生による火山実験も非常に好評でした。この実験では、砂を七輪を改良した炉を使って加熱します。粉末が徐々に溶けていき、最終的には1000度以上に達し、赤熱した溶岩になります。それを土で作った斜面に流して、溶岩の流れる様子やそれが冷え固まってできた火山ガラスを観察することができます。

このほかにも、恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会のメンバーとお隣の白山手取川ジオパークとで様々な体験ブースや展示ブースを出展し、総勢130人にご参加いただき、盛況なイベントとなりました。今後も、このジオパークフェスタを継続していくので、ぜひご参加ください。

―第36回―　ジオパークフェスタ2019

①恐竜砂絵体験②恐竜レプリカ作り③お絵描き恐竜クッキー④恐竜ネジアート

問ジオパークまちづくり課（市役所2階）☎88－8126